

平成28年 3月24日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL インドネシア進出に向けて組織を再構築

当社の重要な子会社でありますSET（タイ証券取引所）上場のDigital Finance会社Group Lease PCLは、既にお知らせしておりますとおりシンガポール共和国の投資会社Group Lease Holdings PTE. LTD.を通じて、インドネシア共和国で合弁会社を設立いたしますが、このたびインドネシア進出に向けて組織を再構築いたしましたので、お知らせいたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

March 24, 2016

タイ SET 上場企業でデジタルファイナンス事業を手掛ける Group Lease Public Company Limited (GL)は、アセアンで最も人口の多いインドネシアでの事業開始に向けて、最終段階として現地子会社に 8 百万 US ドル (約 280 百万 タイバーツ) の資本注入を行う。

カンボジア、ラオスでの事業の成功に続くインドネシア進出の動きに合わせて、経営の合理化と効率化を図り、アセアン市場で更に大きく、積極的に拡大を続けるために大規模な組織再編を行った。

今回の組織再編により、新しく執行委員会 (Executive Board) が設立され、タイや海外での全ての事業を指揮する形となる。また、米国出身の金融エキスパートを含む新しい取締役を任命し、成長戦略の策定によりグループ全体の海外展開を推し進める。これらの最近の動きは3月22日の取締役会で決定し、4月28日開催予定の定時株主総会にて議案として正式承認される。

インドネシア事業の立上げ最終段階として、GL取締役会はシンガポールにある100%子会社GL Holdingsの8百万USドルの資金調達を決定した。その資金は、戦略的パートナーであるJ Trust Asiaとのジョイントベンチャー、PT GL Finance Indonesia (GLFI) (GL 65%保有、J Trust Asia20%保有、その他ローカルパートナー15%保有)の資本として注入される。上級エグゼクティブによると、インドネシア官庁からのライセンスを待つのみで、システムは既に準備が出来ていると言う。

近年の新しい且つより複雑なチャレンジが続くなかにおいても、グループが急速な成長を図っていくためには今回の組織再編は避けられない。GLのChairman of Executive Board兼チーフIRオフィサーの此下竜矢氏は「今のGLは以前のような単純なオートバイリース会社ではない。我々は近年急速に成長し、非常に大きくなった。古い経営体形は適していない。我々はデジタルファイナンスパイオニアとしてアセアン市場で総括的なデジタルファイナンスプラットフォームを提供している。効果的に前進していることを確認していくには今回の組織再編が必要だった」と述べる。

会長兼CEOである此下益司氏の積極的な拡大方針の下、GLグループは合計で6つの会社に成長した。タイ上場企業である親会社、4つの完全子会社（Thanaban（タイ）、GL Holdings（シンガポール）、GL Finance（カンボジア）、GL Laos（ラオス））そして、今回のインドネシア ジョイントベンチャーGLFIの構成になっている。

新しいグループ組織表では、これらの6つの会社は、事業開発室（Business Development Office）の下に置かれ、会長兼CEOの此下益司氏の統括下になる。一方、IT、財務経理はグループ事業支援室（Group Business Support Office）の下に置かれ、実弟の此下竜矢氏が統括する。

竜矢氏は、今回新設された執行委員会の委員長に就任する。執行役員会は11人の上級役員で構成され、グループ全体の運営において効率的な調整を担っていく。但し方針や政策に関しては、引き続き取締役会によって統括される。

竜矢氏は、今回の組織再編によりGLは、グループ全体として海外拡大を継続していく、新しいチャレンジを効果的に乗り越えていく体制になったと言及する。「我々の事業は海外展開を広げるにつれ、更に多様且つ複雑になっていく。例えば、我々の貸付ポートフォリオは事業展開する国で様々な通貨を扱っており、効率的な現場主義の経営が必要になる。」

Patrick Fisher氏のような社外取締役の就任は、GLの海外拡大に合致する。元JP Morgan Chase役員であるFisher氏は、新興国の未公開株式の投資スペシャリストであり、欧州、アジア、南米の個人銀行、民間銀行やファイナンス会社で役職を持っている。

Fisher氏以外に新しく3名の取締役、グループCFOであるRegis Martin氏、GLF CEOである石神 理貴氏、GLF取締役である上妻 雄介氏の就任が決定している。

GLは、近年業績が継続して伸びており、四半期利益は記録更新が続いている。タイでの業績回復と海外特にカンボジア事業から堅実な利益が功を奏し、2015年の純利益は582.89百万バーツで前年から約400%の伸びを記録した。

※ジョイントベンチャーの相手先企業であるJ Trust AsiaをJ Trust Bankと誤記がありましたので、訂正させていただきます。J Trust Asiaは日本の上場企業Jトラスト株式会社（証券コード：8508）の子会社でシンガポール法人、J Trust BankもJトラスト株式会社の子会社でインドネシア法人となっております。

以 上